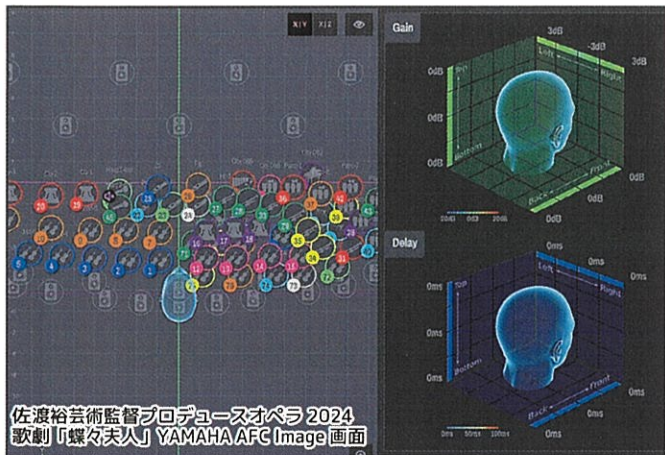




第19回 舞台技術セミナー



佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ 2024
歌劇「蝶々夫人」YAMAHA AFC Image 画面



参考：2015 オープンデー【マエストロはどんな音を聴いているの？】

開場中は SymphoCanvas（マルチスピーカーオーケストラ）をお楽しみください。
50本ものスピーカーで構成されたオーケストラピット内を自由に歩き回ってオペラの演奏を各楽器の音を楽しんでください。



兵庫芸術文化管弦楽団第142回 定期演奏会
バレエ音楽「火の鳥」舞台稽古

【後援】 公益財団法人 日本舞台音響家協会
一般社団法人 日本音響家協会
関西舞台テレビテクノ&アート協同組合
公共劇場舞台技術者連絡会

2024年 **8月30日** (金) 12:00~ SymphoCanvas
13:00~ Seminar

兵庫県立芸術文化センター **KOBELCO** 大ホール

【主催】 兵庫県立芸術文化センター・株式会社ひょうご T2

【事前申込・お問い合わせ】
舞台技術セミナー事務局

(株式会社ひょうご T2 内)
TEL: 0798-64-3100 / FAX: 0798-68-0301
MAIL: seminar@gcenter-hyogo.jp

チラシ裏の申込用紙にご記入の上 FAX でお送り
いただくか右記 QR コードからお申込ください。

シアターイメージングの標準化を目指して

劇場音響の常識が変わるかも!?

—— 昨今舞台音響業界で話題の **イメージング・オーディオ** とは
どのようなものなのか? ——

既に一部の公演では取り入れているようですが、実際どのような仕様で、どのように作用しているのか。劇場やホールでの標準化をするためにはどのような準備が必要なのか。設備は? スキルは? ライセンスは?

そもそも劇場空間は立体音響と言えます。しかし現在の電気音響では2チャンネルステレオを多用しています。今後シアターイメージングを取り入れることで表現方法は変わるのでしょいか。標準化によるメリット、デメリット、リスク、将来性等を、既に取り入れ始めている方々のご意見を伺いながら考察したいと思います。

プログラム

■ クラシック音楽やオペラへのシアターイメージング
導入例と実演 (オペラ『蝶々夫人』・バレエ音楽
『火の鳥』など)

■ 各楽器の音像定位・3Dリヴァーブ・会場の響きの
コントロール・積極的な使い方・目立たない使
い方・誰に向けてのイメージング?

■ ライブハウスや演劇等での実例紹介。効果と展望
■ ブレーンストーミング形式での意見交換

【協力】 株式会社ヤマハミュージックジャパン
ヤマハサウンドシステム株式会社

三村美照 (株式会社 至ラポラトリー)
橋本敏邦 (有有限会社 ティースペック)
バステックオーディオ株式会社

当日受付可



第19回 舞台技術セミナー参加申し込みFax送信状

所属 (会社・学校名)	
電話番号	— —
参加者 氏名 (参加人数だけでも結構です)	
1	16
2	17
3	18
4	19
5	20
6	21
7	22
8	23
9	24
10	25
11	26
12	27
13	28
14	29
15	30

Fax送信先 : 0798-68-0301

お問い合わせ : 舞台技術セミナー事務局 (株式会社ひょうごT 2 内) Tel:0798-64-3100

メールアドレス : seminar@gcenter-hyogo.jp